

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1263	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	世界に誇る伊賀流忍者活用事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	永岡 良仁	

会計区分	事業コード	363521
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	世界に誇る伊賀流忍者活用事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	3	広域観光戦略
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域の観光産業を活性化し、観光の持続的な発展につなげる。
事業内容
三重県、三重大学伊賀連携フィールド、伊賀市、伊賀上野観光協会、名張市観光協会と連携しながら、世界に誇れる観光資源である「伊賀流忍者」を国内外へ情報発信する取組を展開する。伊賀流忍者観光推進協議会を組織し、スケールメリットを活かして忍者コンテンツを活用しながら、海外への情報発信やインバウンド向け旅行商品への組込等を図る事業を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		・伊賀流忍者観光推進協議会負担金(伊賀流忍者観光推進協議会部会を随時開催予定) ・市で伊賀流忍者をPRするグッズを製作。	・伊賀流忍者観光推進協議会負担金(伊賀流忍者観光推進協議会部会を随時開催予定)		

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費			1,300千円		1,300千円		
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	0	1,300	1,300	0	0	
人工数			0.20人		0.20人		
職員							
臨時職員等							
概算人件費	(0千円)	0千円	1,540千円	1,540千円	0千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円)	0千円	2,840千円	2,840千円	0千円	0千円	

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
三重県は平成24～26年度の3年間、「世界に誇れる三重県観光モデル構築事業」を推進しており、伊賀地域においては伊賀流忍者を活用した取組を進めている。伊賀流忍者を国内外に広くPRし、いかにして名張への誘客に繋げていくかが課題である。	名張市・伊賀市・三重県と連携し、部会で製作した忍者衣装やロゴを積極的に活用するとともに伊賀流忍者の情報を全て集約したホームページで情報発信を行い、伊賀地域、そして名張市への誘客に繋げたい。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	「伊賀流忍者」をキーワードに伊賀地域のネットワークを活用し、一体的な観光誘客戦略のもとで情報発信を行っていくことで、地域全体の知名度を高めていく。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	地域に存在する伊賀流忍者という観光資源の掘り起こしのためには、地域との連携を密にする必要がある。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画 名張市産業振興ビジョン
伊賀流忍者を三重県全体の観光資源として位置付け、地域全体の知名度を上げて名張市の入込客数増加に繋げていく。	